

十市小学校 安全教育全体計画

安全上の状況・課題

- 通学路は幹線道路沿いにあり、見通しの悪い箇所も多く、交通安全上の課題が大きい。
- 大きな道を外れると一通りが少なく、暗い道も多い。防犯上の課題が多い。
- 通学路にはブロック塀や崩れやすい山肌の場合もあり、災害時の危険性が考えられる。
- 本校校舎は津波想定浸水域からは外れているが、浸水域や、地震による地盤沈下や液状化の恐れがある区域に自宅がある児童も少なくない。

学校教育目標

【心豊かでたくましい十市の子どもの育成】

- 命を大切に、思いやりのある子ども
- 最後までやりぬく子ども
- 自ら学び、考え、行動する子ども

安全教育の目標

- 健康で楽しく安全な学校生活を送ることができる。
- 学校施設の正しい使い方を身につけ、危険や事故を未然に防ぐ能力を身につける子どもを育てる。

安全管理

- 校内安全点検
- 通学路の安全点検
- 地域・警察・保護者・教職員による見守り活動
- 連絡体制・緊急体制の整備

安全に関する組織活動

- アレルギー対応研修
- 救急救命法研修
- PTA・交通安全少年団等による交通安全指導
- 教職員の防災研修
- 計画的な避難訓練
- 地域との防災推進協議会
- 家庭・地域との連絡体制
- PTA・地域との防災研修

学年別重点

【低学年】	【中学年】	【高学年】
<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廊下や階段を安全に歩いたり、遊具を正しく使ったりすることができる。 ○できるだけ友達と一緒に登下校することが、身を守ることにつながる意味を理解している。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道を渡る時の「とまる・みる・たしかめる」の確認行動を身に付けている。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所へ移動し大事な頭を守ることを理解し、行動しようとしている。 ○どこにいても自分で判断して避難することができるよう、校区の津波避難場所と知っている。 	<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○廊下や階段を安全に歩いたり、道具を使うときには、周囲の安全に気を配ったりすることができる。 ○登下校時に見守ってくれる地域の人を知る。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な危険の原因や事故の防止について理解し、危険に気付くとともに安全な行動ができる。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指示を待つことなく自分の判断で行動しようとしている。 ○地震発生時に、強い揺れ、長く揺れたらすぐに避難しようとしている。 ○災害時には、家族や友達、周囲の人々と協力して危険を回避できる。 	<p>【生活安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な状況下における校内での過ごし方を認知し、ルールを守ることができる。○登下校は、周囲の状況を確認しながら歩くことができる。 <p>【交通安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な場面で発生する危険を予測し、進んで安全な行動ができる。 ○自分自身の安全だけでなく、家族など、身近な人々の安全にも気配りができる。 <p>【災害安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指示を待つことなく自分の判断で行動することができる。 ○自身発生時に、強い揺れ、長く揺れた時は津波が来ると想定し、自ら判断して最も近い高台へ避難することができる。 ○災害時には家族や友達、周囲の人々の安全にも配慮し、他の人の役に立つ行動ができる。

関連する主な領域及びその指導内容

	【低学年】	【中学年】	【高学年】
科 教	○生活科（１）学校生活に関わる活動（３）地域に関わる活動 ・「わたしの町をたんけんしよう」（２年）	○社会科４年（３）自然災害から人々を守る活動 ・「安全なくらしを守る」 ・「地いきのはってんにつくした人々」	○社会科５年（５）我が国の国土の自然環境と国民生活 ・「災害から人々を守る」 ○体育科 G 保健（２）けがの防止 ・事故やけがの防止
徳 道	○主として自分自身に関すること〔節度・節制〕 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕	○主として自分自身に関すること〔節度・節制〕 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕	○主として自分自身に関すること〔節度・節制〕 ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること〔生命の尊さ〕
総合的な学習の時間	○生活科内容（１）学校生活に関わる活動 ・みのまわりのあんげん ○生活科内容（２）地域に関わる活動 ・町たんけん「みんなであつかう場所へ行こう」（２年）	○総合的な学習の時間３（５）探求課題の例…現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題 ・「十市のことをもっと知ろう」（３年） ・「十市のためにはたらく人たち」（３年） ・「地域の人と一緒に十市防災マップを作ろう」（４年）	○総合的な学習の時間３（５）探求課題の例…現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題 ・「南海地震に備えて～５年生として避難時の行動について考える～」（５年） ・「がん・薬物乱用について知ろう」（６年） ・「医療で頑張っている方々へメッセージを届けよう」（６年）
特別活動	○学級活動（２）ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成	○学級活動（２）ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成	○学級活動（２）ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成
行事	○地震津波避難訓練（授業中、休み時間、掃除中、下校中、時間と場所を変えて） ○火災避難訓練（地域の消防団や消防本部の方と一緒に） ○防犯教室 ○交通安全教室 ○がん教育 ○薬物乱用防止教室		

安全教育の成果を測る指標

- 防災意識アンケートの結果で、命の守り方についての理解が約８５パーセント以上を目指す。
- 毎回の避難訓練の実施後の振り返りカードの結果、「本当の地震と思って行動できた」における肯定的な回答が９０パーセント以上を目指す。